

麻しんの発生に伴う金沢市からのお願い

平成 29 年 4 月 24 日

金沢市保健所

この度、金沢市内で 2 例目の麻しん（はしか）と診断された方が発生しました。
今後、感染の拡大を抑え、周囲への影響を最小限にするため、下記事項についてご留意ください。

1. 症状がある時の対応

① 37.5℃以上の発熱がある場合は、保育園、学校や仕事を休み、医療機関で診断を受けてください。

② 医療機関を受診する際には、あらかじめ電話で麻しんである可能性を伝え、医療機関の指示に従い、公共交通機関の利用を避けて、自家用車等で受診してください！

2. 予防接種歴についてご確認ください。

- 平成 2 年 4 月 2 日以降に生まれた方は、予防接種法の改正により、麻しんの予防接種を 2 回受ける機会があったため、感染の可能性は低いと考えられますが、今一度、母子手帳で 2 回接種が済んでいるかをご確認ください。
- 平成 2 年 4 月 1 日以前に生まれた方は、幼児期に 1 回予防接種を受けてから相当の年月が経過していますので、感染防御のための十分な免疫がない可能性があります。**医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします！**
- 麻しんワクチンを 1 回のみ接種している場合、典型的ではない症状を呈することがあるため（修飾麻しん）、風邪と誤っていても実際には麻しんの可能性があるため注意が必要です。
- 妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産を起こす可能性があります。妊娠前であれば未接種・未罹患の場合、ワクチン接種を受けることを積極的に検討すべきですが、既に妊娠している場合、ワクチン接種を受けることができませんので、麻しん流行時は外出を避け、人込みに近づかないようにするなどの注意が必要です。

3. 麻しんの症状と感染力について

- ① 潜伏期間（感染者と接触してから症状が出るまでの期間）は概ね 10 日から 12 日程度です。
- ② 初期症状は、発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛など様々な症状が出ます。一旦解熱した後、再び高熱が出ると同時に全身に発しんが出現し、4～5 日高熱が続きます。
- ③ 合併症がない限り 7～10 日程度で回復します。
- ④ 上記の風邪症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日くらいまでの間は、他人にうつす可能性があります。（麻しんは感染力が強く、すれ違っただけでも人にうつることがあると言われています。）

4. ご不明な点やお問合せ等がありましたら、下記までご連絡ください。

金沢市保健所 地域保健課

電話 平日 8:30～17:15 076-234-5102